

2011年度

科目名	救急処置法演習		
担当教員	吉川 真由美		
配当	人社2	コード	42042
開期	前期	講時	木曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	救急処置の基礎と各種の障害に対する処置		
目的と概要	救急処置とは不慮の事故により負傷した場合や急性疾患を起こした者に対し、医師が来るまでの間や医師に引き渡すまでの時間で応急の一時的に行われる手当てをいう。医師の行う医療行為とは区別されるものである。 受傷直後の適切な救急処置は人命救出や苦痛軽減、その後の治癒日数短縮に貢献する。多くの場合、救急処置を施すものは医師ではなく一般人である。その知識と技術を習得したものたちにより、はじめて適切な処置を行うことができる。特に、スポーツに携わるものは正しい救急処置を施すことができるように日ごろから習熟しておくことが大切である。 この講義では救急処置の基礎知識や各種の障害に必要な処置を学ぶ。		
成績評価法	平常点30%・授業時のレポート20%・授業時のテスト50%		
テキスト	健康運動指導士養成講習会テキスト		
参考書	赤十字救急法教本 スポーツ指導者のためのスポーツ外傷・障害		
履修に当た ての注意・助言 /準備学習	前時までの学習内容については必ず理解して授業に臨んでください。		
講義計画			
授業スケジュール・内容			
1：講義	救急処置について ～救急法の範囲、連絡・通報、そして現場での留意点～		宮内
2：講義	救急処置の基本 ～観察から手当ての順序～		宮内
3：講義	救急蘇生法（1）		雪村
4：実習	救急蘇生法（2）		雪村
5：講義	外科的処置（1）		田中
6：実習	外科的処置（2）		田中
7：講義	傷の手当と止血		宮内
8：講義	骨折、脱臼、捻挫の救急処置		宮内
9：講義	暑熱障害 ～水分補給と処置～		宮内
10：実習	包帯の施し方（三角巾を含む）		宮内
11：実習	運搬法の実際		宮内
12：講義	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任		宮内
13：講義	アイシング ～理論と実際～		宮内
14：講義	スポーツテーピング ～理論と実際～		宮内
15：総括			